

令和3年度鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻 入学試験における出題ミスについて

令和2年8月21日
鳥取大学

このたび、令和2年8月20日（木）に実施しました「令和3年度鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻入学試験」の学力検査試験科目において、試験終了後に出題ミスがあることが判明しました。受験者をはじめ関係の皆様にご迷惑をおかけしましたことに対しまして、お詫び申し上げますとともに、再発防止に向け万全を期す所存であります。

1. 出題ミスの内容

「土質力学」の学力検査において、問題〔Ⅱ〕の問題文に一部ミスがあったことが、試験終了後判明しました。

（誤） σ_1 は最大主応力、 σ_1 は最小主応力

（正） σ_1 は最大主応力、 σ_3 は最小主応力

2. 出題ミスへの対応

当該ミスが一部関係する問題〔Ⅱ〕の（1）（2）について、当該科目受験者全員に配点（16点）を与えることとした。

3. 受験者数

持続性社会創生科学研究科工学専攻社会システム土木コース入学試験を受験した者は22名で、そのうち「土質力学」を選択した者は11名です。

（7科目のうち3科目選択）

4. 今後の対応策

今回このような出題ミスが発生させたことは誠に申し訳なく、早急に防止策を検討し、学力検査の問題作成及びチェック体制の見直しを行い、再発防止に努める所存でございます。